

# オーストリア

2021年11月8日

海外調査部・ウィーン事務所

2020年の貿易は、輸出と輸入がともに大幅に減少し、貿易赤字も縮小した。直接投資は対内、対外ともに大幅な引き揚げ超過に転じた。対日貿易は、輸出と輸入の最大品目である機械・輸送機器がともに大幅に減少した。特に、自動車の輸入は前年比27.5%減となった。日本との直接投資は、対内が8,700万ユーロの引き揚げ超過、対外が1,800万ユーロで前年から半減した。

## ■輸出入ともに減少、貿易赤字も半減

2020年の貿易は、輸出が前年比7.5%減の1,419億3,300万ユーロ、輸入は8.6%減の1,442億300万ユーロとなり、ともに大幅に減少した。輸出よりも輸入の減少幅が大きく、貿易赤字は前年の43億1,500万ユーロから22億7,000万ユーロとほぼ半減した。

輸出を品目別で見ると、最大品目である機械・輸送機器（構成比38.2%）は前年比12.1%減となった。このうち、道路輸送機器（9.9%）が乗用車（4.3%）の24.2%減により17.2%減、原動機（4.2%）が17.6%減と大きく落ち込んだことが響いた。一方、化学品（15.3%）は主力の医薬品（8.1%）が2.7%増と増加し、0.4%増と前年を上回った。食品・動物・飲料・たばこ（8.5%）も3.3%増、金・金貨（1.5%）も2倍となり、輸出全体の減少幅を抑制した。

輸出を国・地域別で見ると、全体の7割近くを占めるEU（構成比67.5%）は前年比6.5%減、このうちユーロ圏（52.1%）も6.5%減となった。最大の輸出相手国のドイツ（30.5%）は3.8%減となった。同国向け最大品目である機械・輸送機器（38.8%）が、乗用車（2.4%）の14.9%減、自動車部品（4.2%）の16.8%減により、オートバイ・自転車（1.2%）の24.6%増を打ち消す形となり、8.7%減となったことが響いた。一方、食品（8.1%）の4.5%増、化学品（10.3%）の1.6%増が減少幅を抑制した。EU域内の非ユーロ圏では、多くの国が前年比減となる中で、輸出額が最大のポーランド（3.8%）が、医薬品（16.0%）の

表1 オーストリアの品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年	2020年		伸び率	2019年	2020年		伸び率
金額	金額	構成比	金額		金額	構成比		
機械・輸送機器	61,763	54,274	38.2	△ 12.1	56,832	50,347	34.9	△ 11.4
道路輸送機器	16,995	14,075	9.9	△ 17.2	18,270	14,980	10.4	△ 18.0
乗用車	8,040	6,095	4.3	△ 24.2	8,836	7,109	4.9	△ 19.5
自動車部品	4,416	3,624	2.6	△ 17.9	5,746	4,505	3.1	△ 21.6
電気・電子機器	11,030	10,274	7.2	△ 6.9	10,760	10,235	7.1	△ 4.9
一般機械	9,774	8,699	6.1	△ 11.0	8,789	8,023	5.6	△ 8.7
産業用機械	8,986	8,361	5.9	△ 6.9	4,846	4,535	3.1	△ 6.4
原動機	7,282	5,999	4.2	△ 17.6	4,434	3,621	2.5	△ 18.3
その他輸送機器	2,699	2,404	1.7	△ 10.9	1,887	1,512	1.0	△ 19.9
通信機器	2,041	1,966	1.4	△ 3.7	3,954	3,798	2.6	△ 3.9
原料別製品	31,870	28,723	20.2	△ 9.9	24,439	22,915	15.9	△ 6.2
金属製品	8,229	7,557	5.3	△ 8.2	6,897	6,356	4.4	△ 7.8
鉄製品	7,729	6,222	4.4	△ 19.5	4,147	3,537	2.5	△ 14.7
化学品	21,571	21,647	15.3	0.4	21,843	20,883	14.5	△ 4.4
医薬品	11,147	11,448	8.1	2.7	9,894	9,557	6.6	△ 3.4
雑製品	17,275	16,055	11.3	△ 7.1	23,703	21,799	15.1	△ 8.0
食品・動物・飲料・たばこ	11,641	12,023	8.5	3.3	11,686	11,634	8.1	△ 0.4
原料	4,746	4,273	3.0	△ 10.0	6,095	5,816	4.0	△ 4.6
コルク・木材	1,741	1,646	1.2	△ 5.5	1,426	1,406	1.0	△ 1.4
燃料・エネルギー	3,570	2,811	2.0	△ 21.3	12,283	8,293	5.8	△ 32.5
原油・石油製品	1,948	1,308	0.9	△ 32.9	7,868	4,924	3.4	△ 37.4
電力	1,200	1,121	0.8	△ 6.6	1,069	884	0.6	△ 17.3
天然ガス	420	380	0.3	△ 9.6	2,578	2,030	1.4	△ 21.3
その他製品	1,064	2,129	1.5	100.0	936	2,516	1.7	168.8
金・金貨	1,023	2,095	1.5	104.9	881	2,438	1.7	176.7
総額 (その他含む)	153,502	141,933	100.0	△ 7.5	157,817	144,203	100.0	△ 8.6

〔注〕 EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

〔出所〕 オーストリア統計局のデータから作成。

〔出所〕 オーストリア統計局

67.4%増に牽引され、3.2%増となった。

EU域外(32.5%)は9.5%減の461億9,200万ユーロだった。このうち、最大の輸出先である米国(6.6%)は9.2%減と落ち込んだ。飲料・たばこ(11.2%)の5.8%増、その他製品(12.2%)の5.5%増、化学品(13.4%)の1.0%増など堅調に拡大した品目もあったものの、主力の機械・輸送機器(47.9%)が17.2%減と大幅に減少したことによる。アジア大洋州(7.7%)は13.8%減となり、このうち中国(2.8%)が11.9%減、ASEAN(1.0%)が16.7%減といずれも2桁台の落ち込みとなった。中国向け輸出は、食料品(4.6%)が87.3%増とほぼ倍増となったが、医薬品(6.2%)の32.1%減、道路輸送機器(7.4%)の31.7%減が響いた。

輸入を品目別でみると、前年比2.8倍となった金・金貨(構成比1.7%)によるその他製品(1.7%)

の2.7倍を除き、全ての品目が前年から減少した。最大品目である機械・輸送機器(34.9%)が、道路輸送機械(10.4%)の18.0%減や電子・電気機器(7.1%)の4.9%減などにより、11.4%減となった。また、燃料・エネルギー(5.8%)は32.5%減と減少幅が特に大きかった。一方、金・金貨(1.7%)は2.8倍となった。

輸入を国・地域別でみると、EU(構成比68.4%)は前年比8.6%減となった。このうち最大輸出元のドイツ(35.0%)は、最大輸入品目である機械・輸送機器(37.4%)の12.2%減が響き、8.6%減となった。そのほか、12.1%減となったイタリア(6.3%)をはじめ、3.9%増となったルーマニアを除くEU加盟国は軒並み減少した。

EU域外でも、ほとんどの国・地域が減少する中で、スイス(5.3%)が、医薬品(37.2%)の43.1%増による化学品(43.2%)の33.2%増や原料別製品(9.7%)の5.7%増により、25.5%増となった。アジア大洋州(12.1%)は、中国(7.0%)が3.2%増となったが、ASEAN(1.8%)の7.5%減などにより、地域全体では0.9%減で微減となった。

2021年に入って、輸出入はともに増加傾向にある。2021年上半期の輸出は前年同期比22.2%増となり、輸入も16.5%増となった。オーストリア国立銀行が6月11日に発表した中期予測によると、2021年通年では輸出が前年比7.1%増、輸入が7.4%増となる見通しだ。

## ■直接投資は対内外ともに大幅な引き揚げ超過

オーストリア国立銀行によると、2020年の対内直接投資額(国際収支ベース、ネット、フロー)は前年の8億6,400万ユーロから151億8,100万ユーロの大幅な引き揚げ超過に転じた。対外直接投資額も前年の97億3,200万ユーロから28億1,300万ユーロの引き揚げ超過に転じた。

表2 オーストリアの主要国・地域別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	構成比	金額	伸び率	金額	構成比	伸び率	
EU	102,441	95,741	67.5	△ 6.5	107,827	98,599	68.4	△ 8.6
ユーロ圏	78,992	73,888	52.1	△ 6.5	87,271	79,470	55.1	△ 8.9
ドイツ	45,033	43,329	30.5	△ 3.8	55,226	50,458	35.0	△ 8.6
イタリア	9,754	8,843	6.2	△ 9.3	10,368	9,111	6.3	△ 12.1
フランス	6,721	6,115	4.3	△ 9.0	4,225	3,717	2.6	△ 12.0
スロバキア	3,179	2,859	2.0	△ 10.1	3,282	2,903	2.0	△ 11.6
非ユーロ圏	23,339	21,814	15.4	△ 6.5	20,556	19,129	13.3	△ 6.9
ポーランド	5,165	5,330	3.8	3.2	4,657	4,499	3.1	△ 3.4
チェコ	5,405	4,990	3.5	△ 7.7	6,628	5,990	4.2	△ 9.6
ハンガリー	5,588	4,898	3.5	△ 12.4	4,296	3,853	2.7	△ 10.3
ルーマニア	2,514	2,311	1.6	△ 8.1	1,520	1,580	1.1	3.9
アジア大洋州	12,647	10,897	7.7	△ 13.8	17,675	17,512	12.1	△ 0.9
中国	4,459	3,929	2.8	△ 11.9	9,828	10,147	7.0	3.2
日本	1,613	1,522	1.1	△ 5.6	2,245	2,047	1.4	△ 8.8
ASEAN	1,624	1,353	1.0	△ 16.7	2,757	2,549	1.8	△ 7.5
韓国	1,181	1,142	0.8	△ 3.3	757	814	0.6	7.4
インド	922	835	0.6	△ 9.4	1,021	893	0.6	△ 12.6
米国	10,242	9,299	6.6	△ 9.2	7,093	5,272	3.7	△ 25.7
スイス	7,263	7,479	5.3	3.0	6,068	7,614	5.3	25.5
英国	4,496	4,060	2.9	△ 9.7	2,831	2,152	1.5	△ 24.0
ロシア	2,362	2,119	1.5	△ 10.3	2,762	2,170	1.5	△ 21.4
アフリカ	1,977	1,706	1.2	△ 13.7	2,204	1,467	1.0	△ 33.4
トルコ	1,158	1,255	0.9	8.3	1,762	1,760	1.2	△ 0.2
ブラジル	758	633	0.4	△ 16.4	355	292	0.2	△ 17.9
合計(その他含む)	153,502	141,933	100.0	△ 7.5	157,817	144,203	100.0	△ 8.6

[注] ①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。  
②アジア・大洋州はASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港および台湾を加えた合計値。  
[出所] オーストリア統計局

2020年の対内直接投資を国・地域別で見ると、EUが43億7,000万ユーロの引き揚げ超過と目立った。中でも、ドイツの45億2,600万ユーロの引き揚げ超過が際立った。一方で、EUの中では、オランダが8億9,000万ユーロで前年から倍増となった。EU域外では、アラブ首長国連邦の42億4,700万ユーロの引き揚げ超過や米国の12億5,000万ユーロの引き揚げ超過が目立った。主な対内投資案件としては、スイス製薬大手ノバルティスが2020年7月、欧州における抗生物質生産の競争力確保を目的に、チロル州クンドルの工場に今後5年間で1億5,000万ユーロの追加投資を行うと発表した。

オーストリア経済振興会社 (ABA) は、2020年に前年比109社減となる353社の外国企業を誘致した。投資総額は5億8,020万ユーロ、雇用創出数は2,165人と、いずれも前年を下回ったが、マルガレーテ・シュランベック・デジタル化・経済相は、2020年の結果が新型コロナウイルス危機下でもオーストリアが安全な投資先であることを示すものと強調している。投資誘致案件数を国別で見ると、ドイツが96社と前年同様1位で、イタリアが35社、スイスが25社と続いた。中・東欧からは88社が投資した。

2020年の対外直接投資を国・地域別で見ると、EUが20億2,000万ユーロの引き揚げ超過と際立った。国別では、ドイツ向けが12億7,500万ユーロと前年から4億ユーロ近く減少したが比較的投資額が大きかった。また、EU域外では、中国の18億4,200万ユーロの引き揚げ超過やロシアの10億9,800万ユーロの引き揚げ超過が目立った。主な対外投資案件としては、製材事業などを手掛けるHSティンバーが2020年12月、ベラルーシ子会社HSベラコンを通じて、グロドノ地区に製材工場を建設すると発表した。12月に起工し、2022年春に完成予定としている。

表3 オーストリアの国・地域別対内・対外直接投資 (国際収支ベース、ネット、フロー)

(単位: 100万ユーロ)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2019年 金額	2020年 金額	2019年 金額	2020年 金額
EU	692	△ 4,370	3,721	△ 2,020
ユーロ圏	899	△ 4,508	3,288	△ 883
オランダ	446	890	8,734	△ 1,509
ルクセンブルク	713	△ 131	△ 7,096	250
フランス	271	△ 259	66	△ 162
イタリア	△ 26	△ 382	7	86
ドイツ	△ 129	△ 4,526	1,666	1,275
非ユーロ圏	△ 207	138	433	△ 1,137
チェコ	△ 118	133	314	△ 559
ブラジル	430	67	△ 10	534
トルコ	101	24	△ 41	18
中国	39	0	258	△ 1,842
アフリカ	31	0	65	△ 46
インド	26	△ 11	121	121
日本	1,711	△ 87	35	18
スイス	329	△ 850	666	1,470
英国	△ 1,424	△ 880	△ 28	884
米国	△ 2,140	△ 1,250	529	196
ロシア	1,608	△ 1,766	145	△ 1,098
アラブ首長国連邦	△ 504	△ 4,247	2,211	△ 692
合計 (その他含む)	864	△ 15,181	9,732	△ 2,813

[注] 2020年は推定値。  
[出所] オーストリア国立銀行

表4 オーストリアの主な対内直接投資案件 (2020年~2021年3月)

< M&A 以外 >

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
薬品	ノバルティス	スイス	2020年7月	1億5,000万ユーロ	ノバルティスは、欧州における抗生物質生産の競争力確保を目的に、チロル州クンドルの工場に今後5年間で1億5,000万ユーロの追加投資を行うと発表。
薬品	フレセニウス・カービ	ドイツ	2021年2月	6,000万ユーロ	フレセニウス・カービは、2023年までに6,000万ユーロを投じて、グラーツの工場とその周辺の包装施設を拡張すると発表。
物流	ガルベ・インダストリアル・リアル・エステート	ドイツ	2021年2月	2,800万ユーロ	物流不動産の開発などを手掛けるガルベ・インダストリアル・リアル・エステートはウィーン周辺で3万1,500平方メートルのロジスティクスセンターを建設する予定と発表した。着工は2021年第2四半期を予定。
化学	メタフラクス	ロシア	2020年3月	非公表	化学大手メタフラクスは、オーストリアの子会社メタティネアでの難燃剤の製造拡大のための追加投資を行うと発表した。

< M&A >

業種	被買収企業 (事業)		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍				
不動産	エクセテル・プロパティ・グループ	アリアンツ・リアル・エステート	ドイツ		2021年3月	7,200万ユーロ	不動産大手アリアンツ・リアル・エステートはウィーン南部のロジスティクスセンターの買収を完了したと発表。アマゾンがテナントとなり、配送ステーションとして利用。
ITソフトウェア	ウェブ・エス・エム・エス	リンク・モビリティ・グループ	ノルウェー		2020年11月	5,090万ユーロ	ノルウェーのITソフトウェア大手リンク・モビリティは、オーストリアの同業ウェブ・エス・エム・エスの買収を完了したと発表。
電子機器	ガントナー・エレクトロニク	サルト	スペイン		2020年10月	非公表	電子銃システムなどを提供するサルトは同業ガントナー・エレクトロニクの買収を完了したと発表。
食品	マルス・オーストリア	アルフレッド・リッター	ドイツ		2021年1月	非公表	チョコレート製造のアルフレッド・リッターはマルス・オーストリアから、初の国外製造拠点となるブルゲンランド州ライテンブルンの工場と菓子ブランド「アミチュリ」の買収を完了したと発表。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表5 オーストリアの主な対外直接投資案件(2020年~2021年2月)

<M&A以外>						
業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要	
木材	HSティンバー	ベラルーシ	2020年12月	8,400万ユーロ	HSティンバーは、ベラルーシ子会社HSベラコンがグロドノ地区で製材工場を建設すると発表。12月に起工、2022年春に完成予定。	
木材	エッガー	ドイツ	2020年12月	1,800万ユーロ	木材大手のエッガーは、ギフホルン工場を拡張・近代化する予定と発表。冬に当局の許可を得て2021年春から建設を開始する意向を示した。	
ロジスティクス	ゲブリューダーワイス	オーストラリア、ニュージーランド	2020年6月	非公表	ロジスティクス大手のゲブリューダーワイスは2020年7月に、シドニー、メルボルン、オークランドで支社を設けると発表。東アジア・大洋州の既存のネットワークの拡張と新市場の開拓が狙い。	
機械	エルメット	日本	2020年5月	非公表	プラスチック・シリコン製造機械メーカーのエルメットは名古屋で販売・サービス拠点を開設した。顧客は医療機器、自動車部品、テレクトロニクスの製造会社。	
<M&A>						
買収企業 企業名	業種	被買収企業(事業) 企業名	国籍	時期	投資額	概要
マイヤーメルンホーフ	紙・パルプ	インターナショナル・ペーパー・ホールディング	米国	2021年2月	6億7,000万ユーロ	紙パルプ大手のマイヤーメルンホーフは、ファイバーバーンボード分野での成長を狙い、同業の米国インターナショナル・ペーパー・ホールディングのポーランド・クフィジン工場(同ボードを生産)を買収すると発表。2021年第3四半期に手続きが完了する予定。
コッホ・メディア・グループ	ゲーム開発	フライング・ワイルド・ホッグ	ポーランド	2020年11月	非公表	ゲームパブリッシャーのコッホ・メディアは、ポーランドのゲーム開発会社フライング・ワイルド・ホッグの買収を完了したと発表。
ボレアリス	化学	DYMソリューション	韓国	2020年8月	非公表	化学大手のボレアリスは、ポトフェリオを拡大する目的で、韓国のワイヤー・ケーブル用コンパウンドメーカーのDYMソリューションの買収を完了し支配権を獲得したと発表。
カーゴ・パートナー	ロジスティクス	アズテック・インターナショナル	英国	2021年1月	非公表	ロジスティクス大手のカーゴ・パートナーは、同業のアズテック・インターナショナルの株式の3分の1を買収し、マンチェスターで支社を開設。主なサービスはプレキシット後における迅速な関税手続き支援。

[出所] 各社発表および報道などから作成

## ■対日貿易は輸出入ともに減少、投資も低迷

オーストリアにとって日本は輸出で18位、輸入で15位と、アジア大洋州で中国に続く2位の貿易相手国だ。2020年の対日輸出額は前年比5.6%減の15億2,200万ユーロ、対日輸入額は8.8%減の20億4,700万ユーロといずれも大きく減少した。対日貿易赤字は前年の6億3,200万ユーロから5億2,500万ユーロに縮小した。

対日輸出を品目別で見ると、最大品目である機械・輸送機器(構成比44.5%)は前年比7.6%減となった。このうち半分近くを占める自動車(20.1%)が9.5%減となったが、半導体用シリコンウエハー製造装置(1.8%)の倍増や、産業用機械(7.0%)の24.9%増などが減少幅を抑制した。一方、金・金貨(8.3%)の輸出は5.5倍となった。

日本からの輸入を品目別で見ると、全体の6割強を占める機械・輸送機器(構成比64.0%)は前年比16.6%減となった。そのうち自動車(21.0%)の27.5%減が響いたが、他の下位品目も低迷した。他方、医薬品(2.0%)の2.3倍に牽引され、化学品(14.1%)が7.7%増となった。

オーストリア国立銀行によると、2020年の日本からの直接投資受入額は前年の17億1,100万ユーロから8,700万ユーロの引き揚げ

表6 オーストリアの対日主要品目別輸出入(通関ベース)

(単位:100万ユーロ、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	構成比	金額	伸び率	金額	構成比	伸び率	
機械・輸送機器	732	677	44.5	△7.6	1,572	1,311	64.0	△16.6
自動車	339	306	20.1	△9.5	592	429	21.0	△27.5
産業用機械	85	106	7.0	24.9	262	249	12.1	△4.9
一般機械	98	91	6.0	△7.5	107	103	5.0	△3.7
その他輸送機器	59	54	3.6	△7.9	224	215	0.1	△4.0
電気・電子機器	56	51	3.3	△10.0	276	237	11.6	△14.0
原動機	31	25	1.6	△19.2	92	62	3.0	△32.9
原料別製品	302	257	16.9	△14.7	142	136	6.6	△4.2
金属製品	131	108	7.1	△17.3	37	29	1.4	△21.9
コルク・木材製品	96	88	5.8	△8.3	0	0	0.0	122.8
雑製品	185	142	9.3	△23.2	232	219	10.7	△5.7
計測機器	79	79	5.2	0.3	114	103	5.0	△9.9
雑工業製品	73	37	2.4	△49.3	70	77	3.8	10.1
化学品	171	170	11.2	△0.6	268	289	14.1	7.7
医薬品	96	94	6.1	△3.0	18	40	2.0	128.8
原料	111	80	5.3	△27.3	8	6	0.3	△20.3
コルク・木材	93	68	4.4	△27.6	0	0	0.0	△93.9
食品・動物	77	58	3.8	△25.0	5	5	0.2	△6.0
飲料・たばこ	12	11	0.7	△8.5	2	2	0.1	28.4
その他製品	23	127	8.3	447.9	16	78	3.8	394.9
金・金貨	23	127	8.3	447.9	16	78	3.8	394.9
合計(その他含む)	1,613	1,522	100.0	△5.6	2,245	2,047	100.0	△8.8

[出所] オーストリア統計局



超過に転じた。対日直接投資は1,800万ユーロで前年の3,500万ユーロからほぼ半減した。

日本からの主な投資案件としては、日本電産が2020年3月、子会社の日本電産グローバル・アライアンス・イタリア社傘下のオーストリア現地法人を通じて、コンプレッサー製造・販売事業を営むセコップ・オーストリアと、同社のデルタ型コンプレッサー製造業の事業譲受契約を締結した。これにより日本電産はデルタ型コンプレッサー事業に従事する約40人の従業員を引き受け、冷蔵庫用コンプレッサー事業をさらに強化する。また、双日は2021年3月、既存の二輪車販売事業の拡大と新規事業の開拓を目的にウィーンに事務所を開設した。

日本への投資案件としては、プラスチック・シリコン製造機械メーカーのエルメットが2020年5月、名古屋で販売・サービス拠点を開設した。

## 主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：893.3万人（2021年）			
②面積：8万3,883km <sup>2</sup> （2021年）			
③1人当たりGDP：4万8,154米ドル （2020年、推計値）			
④実質GDP成長率（%）	2.6	1.4	△ 6.3
⑤消費者物価上昇率（%）	2.1	1.5	1.4
⑥失業率（%）	5.2	4.8	6.1
⑦貿易収支（100万ユーロ）	△ 5,985	△ 4,316	△ 1,855
⑧経常収支（100万ユーロ）	4,846	11,301	9,471
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	11,653	9,906	13,415
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	285,318	280,340	315,160
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均）	0.8468	0.8933	0.8755

〔出所〕①②⑦⑩：オーストリア統計局、③⑨⑪：IMF、④⑤⑥⑧：オーストリア国立銀行

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp